

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社ココロザシ 放課後等デイサービス ノビルチカラ		
○保護者評価実施期間	2026年2月14日		～ 2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45人	(回答者数) 20人
○従業者評価実施期間	2026年2月14日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の「畑」という環境を最大限に活かし、自然との触れ合いや体を思い切り動かす活動を行っている	野菜の栽培活動だけでなく、畑の広いスペースを利用して鬼ごっこなどの運動遊びを取り入れ、子どもたちがのびのびとストレスを発散できるようにしている	今後は、季節ごとの野菜の栽培計画を子どもたちと一緒に考えたり、収穫した野菜を食べる機会を設けたりして、さらなる食育や主体性の育成に繋げたい
2	将来の「自立」や就労を見据え、子どもたちに人気の「マイクラフト」を活用したプログラミング・パソコン学習を取り入れている	マイクラフトを通じて、ゲーム感覚で楽しみながら論理的思考力や創造性を養うとともに、タイピングやマウス操作などの基本的なITスキルを習得できるようサポートしている	今後は、子どもたちが作ったワールド(作品)を発表する機会や、共同作業の要素を増やし、達成感の向上や他者とのコミュニケーション能力を育む支援も充実させていきたい

3	子ども一人ひとりの特性に寄り添った個別支援と、保護者とのきめ細やかな情報共有・連携ができています	毎日の送迎時や連絡帳を活用し、事業所での「できたこと」や「小さな変化」を保護者へ丁寧に伝えることで、家庭と一貫した支援体制を作れるよう努めている	今後は、定期的な面談や保護者参加型のイベントなどを通じて、保護者同士の交流の場や、事業所への理解をさらに深めてもらう機会を提供していきたい
---	--	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内（療育場）のスペースが限られており、静かに過ごしたい子どもと、活発に動きたい子どもで活動エリアを完全に分離することが難しい	利用定員に対して室内の十分な広さを確保しにくく、時間帯によっては子ども同士の距離が近くなりすぎてしまうため	畑での外遊びや近隣の公園へのお出かけを積極的にプログラムへ組み込むことで、室内空間の過密を防ぎ、子どもたちが落ち着いて過ごせる環境づくりを行う
2	マイクラフトや畑での活動など特色あるプログラムを提供する一方で、それに興味を持たない子どもへの代替プログラムの充実が課題となっている	特定の活動に強いこだわりを持つ子どもや、屋外活動が苦手な子どもなど、興味関心や特性に大きな個人差があるため	読書、工作、カードゲームなど、個別に集中して取り組めるような課題・遊びのバリエーションを増やし、それぞれが自分の好きなことを見つけられる環境を整える
3	地域社会との交流や、地域資源（外部の方など）を活用した活動の機会がまだ十分に設けられていない	事業所内や自社の畑でのプログラムを中心に活動を展開しているため、外部のボランティアの受け入れや地域行事へ参加する関係作りが途上であるため	地域の自治会や近隣の施設へ積極的に挨拶や情報交換を行い、無理のない範囲で近隣の清掃活動やイベントに参加するなど、子どもたちが地域社会と関わる機会を少しずつ増やしていく